

第5回
男山地域まちづくり連携協定
年次報告会

平成31年2月5日

男山地域まちづくり連携協定の締結

地域とともに元気な暮らしができる、住みたい、住み続けたい男山

を目指し、京都府、八幡市、関西大学、UR都市機構が連携して取組んでいこう！



平成23年 9月 関西大学団地再編プロジェクト(文部科学省戦略的研究基盤形成支援事業)開始

平成24年 4月 八幡市・京都府・関西大で戦略会議を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年 4月 UR都市機構が加わり連携協議会を開催 ⇒ 調査・検討・提案

平成25年10月 男山地域まちづくり連携協定の締結(無期限) ⇒ 調査・検討・提案・実践・検証 ⇒

平成28年 3月 文科省補助事業終了

平成26年11月 — 平成27年11月 — 平成28年11月 — 平成31年2月 第5回年次報告会

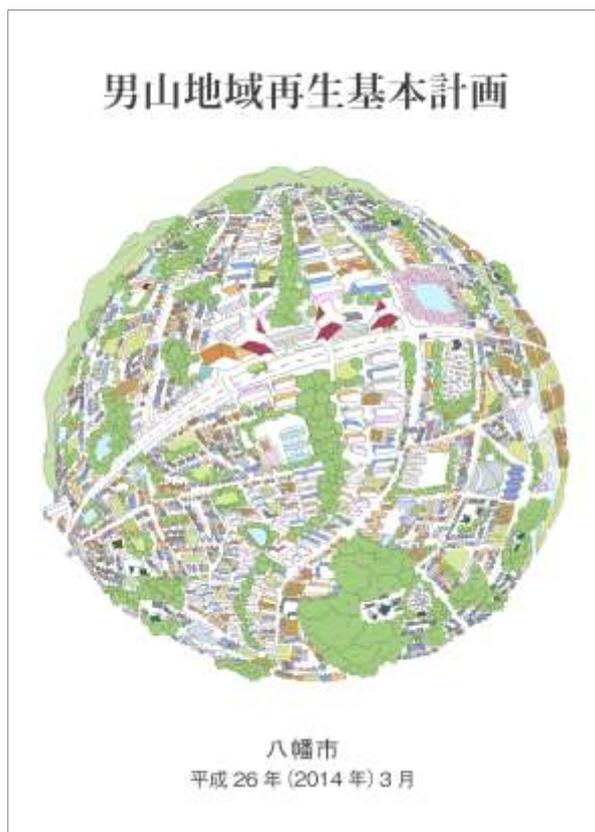
男山地域まちづくり連携協定の目的

- (1) 次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくりの導入・確立
- (2) 多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立
- (3) 地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立
- (4) 住民が主役となるまちづくりとして、地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

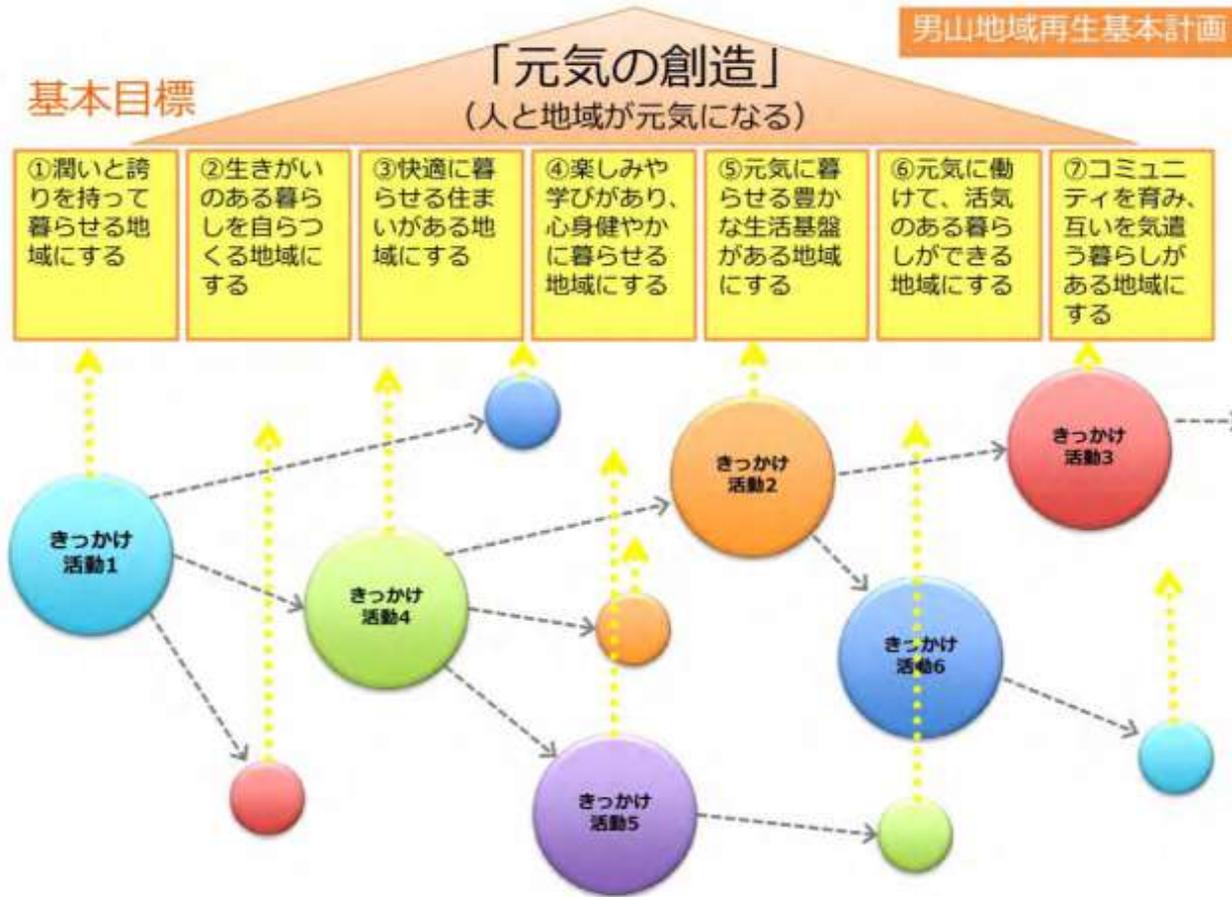
男山の将来目標

地域とともに元気な暮らしができる、
住みたい、住み続けたい男山



平成26年3月 男山地域再生基本計画の策定

「元気の創造」を生み出す7つの基本目標と「きっかけ活動」



現在、連携・協力事項により、具体的な取り組みである
様々な「きっかけ活動」が始まり展開している。

子育て支援の取組み

(1)次世代を育むまちづくりとして、子どもが豊かに育つために、地域で子育てを支えあい、ともに育ちあう、分かちあう環境づくり

ダンチ de コソダテ in 男山 の概要



子育て世代に向けた住宅の供給

- ・リノベーション住宅の供給
- ・エントランス改修による団地環境整備
- ・若年層世帯を対象とする家賃負担の軽減



地域子育て支援施設

「おひさまテラス」の開設・運営

これら2つの事業を柱として、UR男山団地をきっかけとした、まち全体の子育て環境の再編を目指す。

ダンチ de コソダテ の取組み

子育て層などの若い世代へ訴求し得るリノベーション住宅を、関西大学設計プランを主軸として、UR男山団地に投入（H26年度より過去4回実施）＜H26～29年度供給実績15プラン22戸＞

【写真】 関西大学設計リノベーション住戸の一例



H26年度「のびやかに暮らす」



H27年度「ひろく暮らす」



H28年度「ロビーラウンジのある住まい」



H29年度「L字型引戸使い分ける自由な暮らし」

関西大学大学院生による入居後の住まい方調査をもとに、改善した量産化プランとしてプロトタイプモデルも供給。



学生たちとの協業により、築40年の住宅を改修。今回はDIYも積極的に取り入れる。

ダンチ de コソダテ の取組み

「DIYできるリノベーション」としてB・C地区で供給。



C7-506 「空と暮らす住まい」



B4-501 「自分で作っていく住まい」



C9-403 「土間から広がる多様な住まい」

入居者特典に「DIYキット」を贈呈。だんだんラボと連動した取組に。

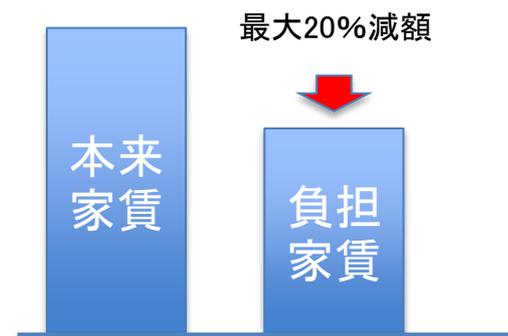
H30供給予定:新規3プラン・過年度3プランの計13戸

ダンチ de コソダテ の取組み

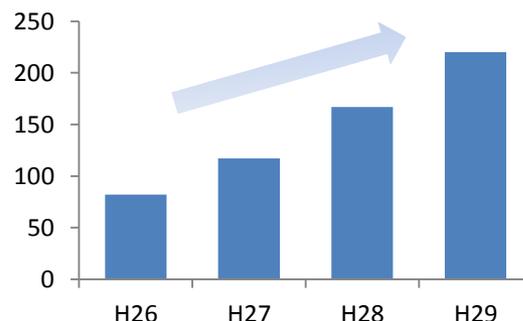
若年層世帯を対象とする家賃負担の軽減

子育て世帯や予備軍となる若年世帯を対象とする家賃負担支援メニューをUR男山団地に投入。

割引制度	対象世帯	家賃割引額
子育て割	子育て世帯(H28.9月より新婚や婚約中の方、妊婦の方にも対象拡大)	最大9年間 20%割引
そのママ割	子育て世帯	3年間 20%割引
U35割	35歳以下の世帯の方(H28.1より29歳⇒35歳に対象拡大)	3年間 20%割引
近居割ワイド	ご親族と八幡市内で近居される子育て世帯等	5%割引



<制度利用者件数の推移>



制度利用者は年々増加傾向に...

ダンチ de コソダテ の取組み

おひさまテラスの運営

子育て世帯をサポートする地域子育て施設を平成26年度より開設。



小さな子どもたちと生活するのは、時に孤独を感じますがそんな親子に「ほっとできる居場所」を与えてくださいました。

はじめは緊張していましたが、やさしく接して頂き、楽しく遊べるようになりました。

アットホームでいつ誰が来ても温かく迎えてくれる雰囲気で利用しやすいです。子どもを育てる親御さん達におすすめしたいです。

なかなか人に会う機会がなく人見知りだった子どもがリラックスして遊ぶようになってくれた事がすごく嬉しいです。

たくさんお友達もできました。たくさんダンスも踊れるようになりました。たくさんお話もできるようになりました。おひさまテラス大好きです。

クリスマス会をするのことでどんな感じなのかなと思い来ました。皆元気で雰囲気もよく、これから時々来てみようと思いました。私は人見知りですがママ友と育児の相談ができたらいいなと思います。

八幡市民ではなくても利用させてもらっています。八幡に帰れる所があるので嬉しいです。

初めておひさまテラスに来ました。明るい雰囲気のお部屋に先生やみなさんも気さくでまた来たいと思いました。



京都府子育て支援表彰(地域貢献部門)受賞!

地域包括ケアの確立

(2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で
住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

八幡市地域包括ケア複合施設YMBT

地域密着型特別養護老人ホーム 定員 29名

高齢者あんしんサポートハウス 定員 20名

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

多目的ホール

UR男山団地内において
平成27年11月1日 地域包括ケア複合施設YMBT 開設

地域包括ケア複合施設YMBTの役割①

多様な高齢者のニーズに対応できる施設

- ・地域での生活を24時間体制で支援(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)
- ・低所得者向けの高齢者居住施設(あんしんサポートハウス)
- ・地域の重度要介護者が生活する施設(地域密着型特別養護老人ホーム)



折り紙教室



実習生との交流

地域包括ケア複合施設YMBTの役割②

元気高齢者の参画、地域へのサービス提供の場の確保

- ・多目的ホールの活用



毎朝のラジオ体操



出前講座、地域の催し等



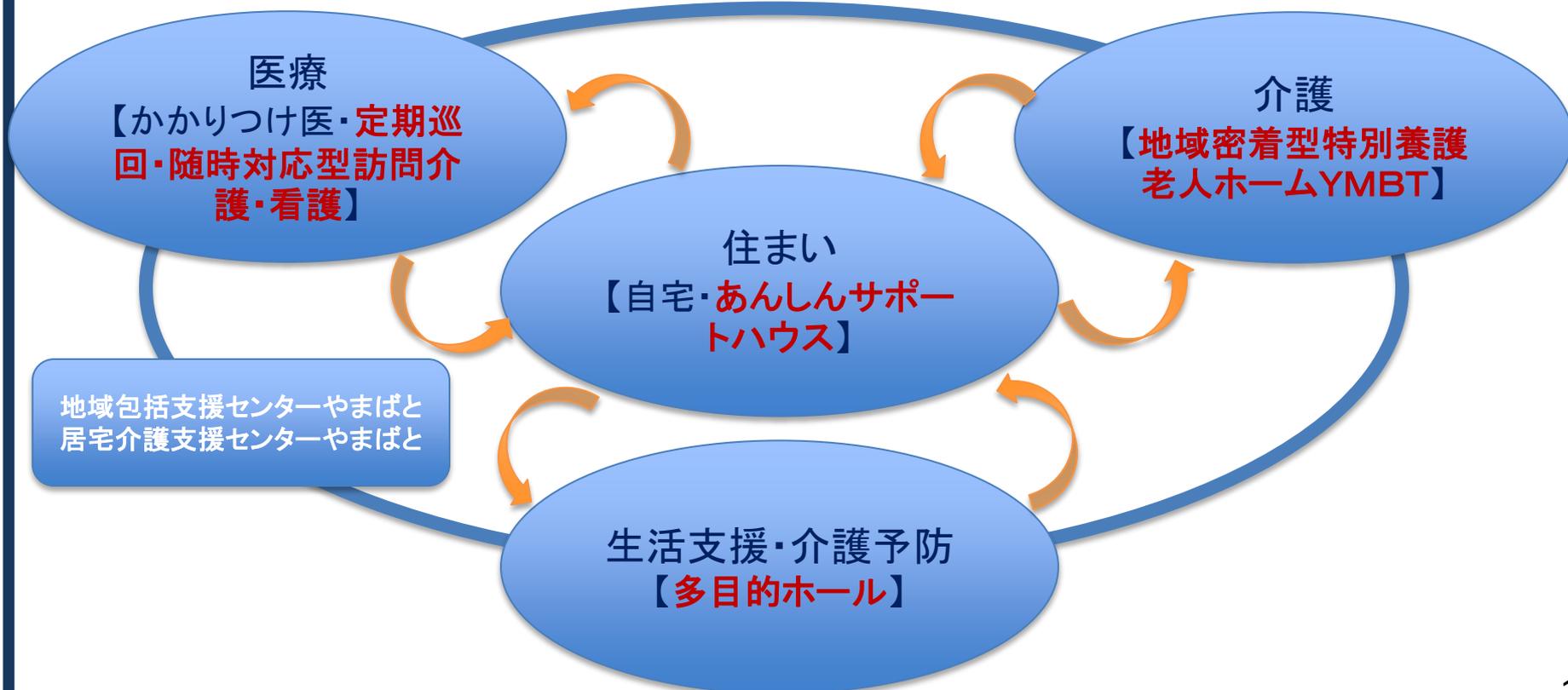
介護予防への取り組み

地域包括ケア複合施設YMBTの役割③

地域包括ケア推進拠点

- ・医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスを包括的に提供

地域包括ケア



男山地域での スマートウェルネスの取組み

男山地域でのスマートウェルネスの取組み

従来の“人に対する健康づくり”に、自然と歩きたくなる都市環境の整備などの“まちの健康づくり”の視点を加えた「健幸まちづくり＝スマートウェルネスシティ」を推進するため、「やわたスマートウェルネスシティ計画」を策定。

産官学の知を集め、**科的根拠に基づく**施策の実施を進めていく



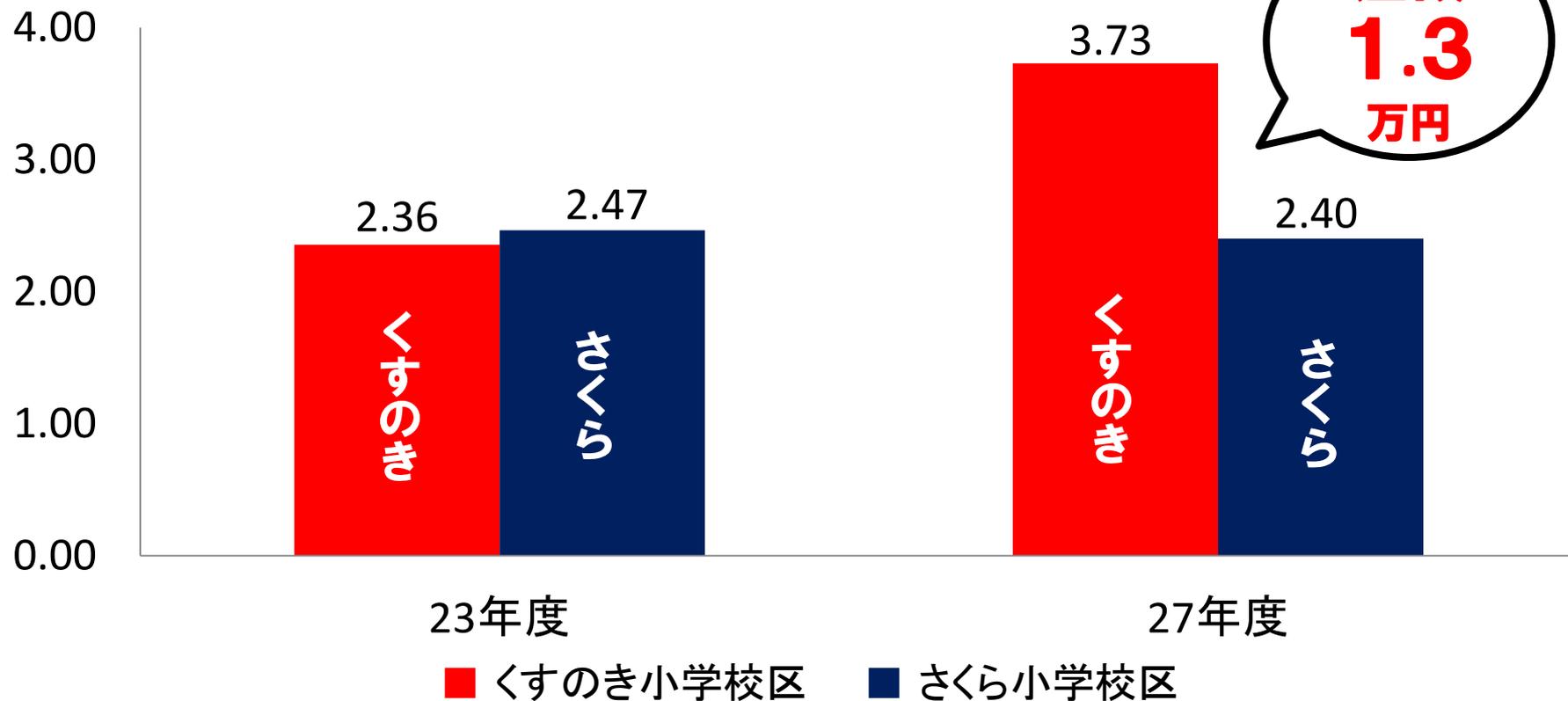
男山地域でのスマートウェルネスの取組み

データで見る男山地域の健康

くすのき小学校区の医療費が突出して増加！

単位:万円

生活習慣病 国保医療費の推移

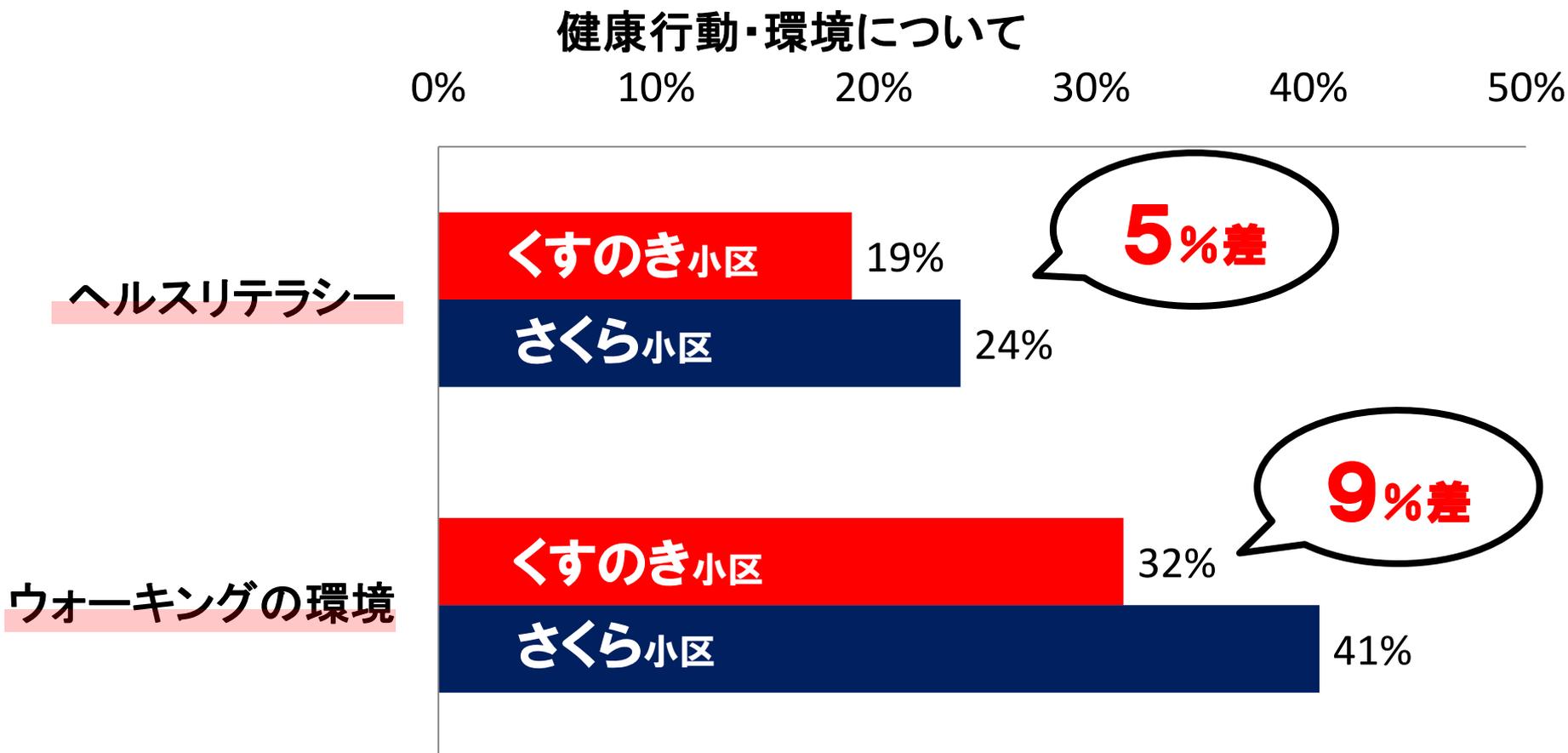


※健幸クラウドより抽出した、40-74歳の国民健康保険加入者より算出した1人当たり医療費

男山地域でのスマートウェルネスの取組み

データで見る男山地域の健康

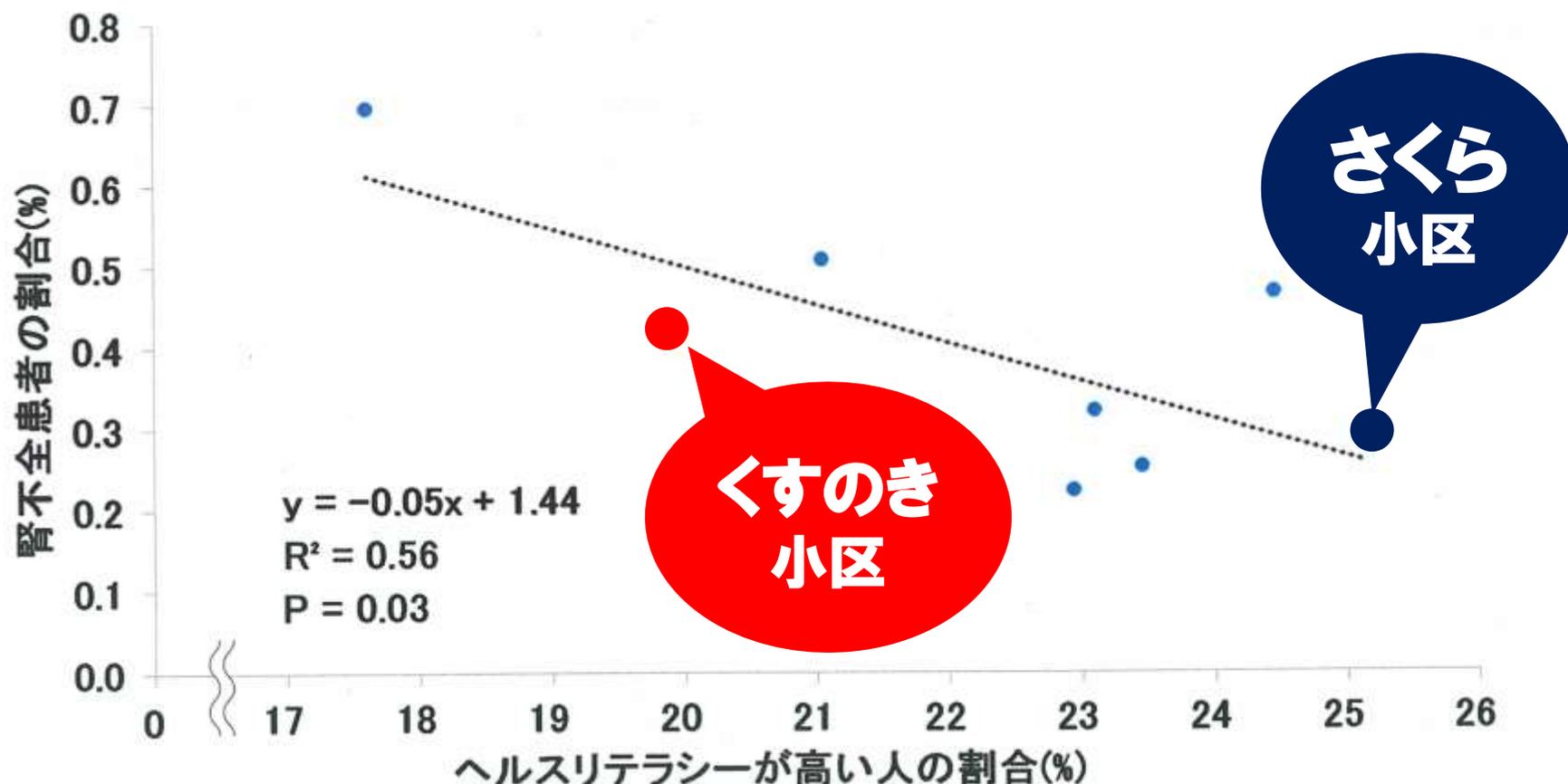
健康への無関心(ヘルスリテラシー)と環境の差が医療費の差を生じた可能性が示唆された。



男山地域でのスマートウェルネスの取組み

データで見る男山地域の健康

健康への無関心は、医療費と**相関**する。



男山地域でのスマートウェルネスの取組み

健幸アンバサダーの養成

身近な人の「ロコミ」が健康への関心を高める。
ロコミを仕組化した**健幸アンバサダー**養成開始。



男山地域でのスマートウェルネスの取組み

無関心層へのアプローチ

健康に無関心な人はどこか？

→手始めに健康とは関連の薄い**地域のイベント**へ出展



① 夏祭り (8月17・25日)

- ・ 男山地区の夏祭りへ出展
- ・ 啓発クイズ「目指せ健幸王」
- ・ 316名が参加



② 生涯学習フェスティバル (11月17日)

- ・ 生涯学習フェスタへ出展
- ・ クイズ、認知症チェック、筋トレ体験
- ・ 170名が参加

男山地域でのスマートウェルネスの取組み

無関心層へのアプローチ

くすのき小学校区で**健幸マルシェ**開催を予定

八幡市
**健幸
マルシェ**
気付き、体験、出会い

立命館大学
眞田樹典 教授による
サルコペニア
講演会
(同時開催！)

平成31年
3/24日
10:00~

場所 生涯学習センター
多岐の方の参加をお待ちしております。
駐車場に限りがありますので、公共交通機関
でお越しください。

健幸マルシェって何？
楽しいイベントが盛りたくさん！
イベントに参加すると、歩数が自然と増えたり、
筋トレをマスターしたりで、知らない間に健康に
なれちゃう！健幸マルシェはそんなイベントです。

予定イベント
○ウォーキング教室
○骨密度測定&牛乳プレゼント
○ストレッチ講座
○姿勢矯正
○サーキットトレーニング
○筋トレバンド教室
○野菜即売

【お問い合わせ先】 八幡市役所健康推進課 TEL:075-983-1111

- ・ 生涯学習センターで健康をテーマに、多様な主体と連携して開催。
(平成31年3月24日・日曜日)
- ・ 地元の農産品や加工品の試食や販売を通じて、地元とのかかわり(ソーシャルキャピタル)を向上。
- ・ 賑わいで自然と歩いてしまう空間づくりで、参加者の歩行を促進。

男山地域でのスマートウェルネスの取組み

取組経過

- **平成28年度**
SWC構想策定、健幸クラウド導入
- **平成29年度**
SWC計画策定、健幸アンバサダー導入
- **平成30年度**
データに基づく健幸政策の試行
- **平成31年度～**
健幸政策の展開

健康福祉分野を中心とした 男山地域再生プロジェクト

絆ネット事業とは

【目的】

地域の高齢者、障がい者、児童などの見守り・生活支援を進める上で、複数機関の連携による支援や公民協働での支援など、地域の様々な主体による取組を横断的に調整・推進し地域全体での新たな見守り活動を展開、地域福祉の再構築を目指す。

【実施主体】

八幡市社会福祉協議会

取組み内容

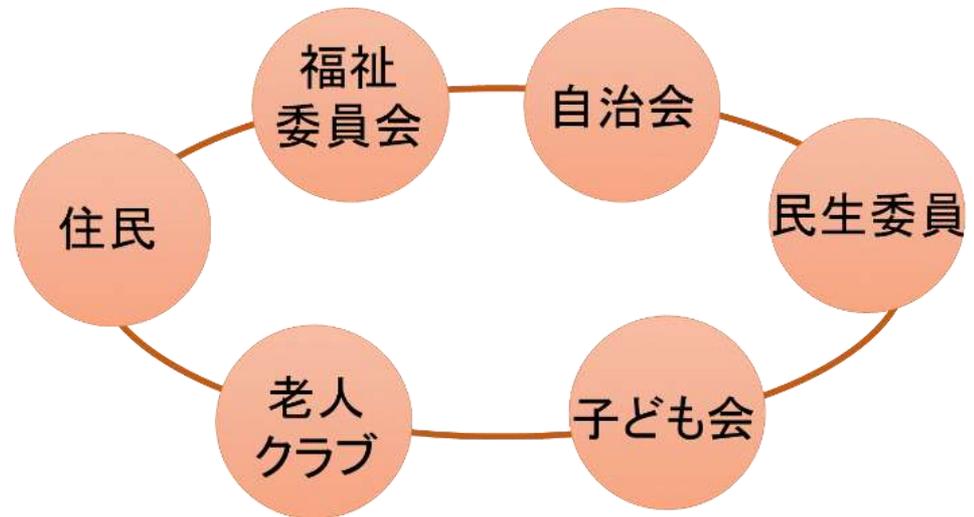
- 地区座談会（住民による見守り・支え合い活動）の推進
- 絆ネット地域懇談会の開催

地区座談会の推進

概要

自治会、福祉委員、民生児童委員、老人クラブ等の地域団体が地域の実態共有や課題解決に向けた取組みについて協議するネットワークとして、自治会単位での地区座談会を推進している。

また地区座談会を通して、取組みに応じた組織化等の活動支援を行う。



想定される団体のイメージ図

地区座談会の推進(取組例)



男山B地区見守り隊

手上げ方式の見守り活動と下校時のパトロールなどの「さりげない」見守り活動を進め、異変時の情報が入れば見守り隊が対応することで、異変発見や行政や専門機関につなげる仕組みがある地域へ。

男山八望地区福祉座談会

地域の掲示板等に「困りごと相談」のチラシを掲示し、地域と社会福祉協議会が窓口となる仕組みづくりを行った。

また、内容を必要に応じて地域と共有し、困りごとを一緒に解決していく地域へ。

みなさんの声 を聞きます

ご迷惑の手伝いをしてほしい

最近、ご近所さんの姿を見なくて心配

お茶を飲みながら楽しく過ごしたい

いただいた声について一緒に考えたり、寄りこであれば関係機関等につなげたりして解決するお手伝いをしていきます。

平成26年から、男山八望地区では、「男山八望地区福祉協議会」を設立し、一人でも多くの住民の声を聞き取り、解決に向けていくために、白居町・北川東町・北川西町・老人クラブが協力、話し合いの企画をしてきました。

住みアンケート

スポーツフェスタ

これまでの男山八望地区福祉協議会の取組

このほかに地域の活動やイベント開催

お茶の会

お茶の会

連絡・相談先

男山八望地区福祉委員会(小笠)

八幡町社会福祉協議会

983-4450

地区座談会の推進(取組例)

男山第四住宅福祉委員会

ふれあい茶話会、健康脳活サロン、歩こう会などでの住民同士の交流や、見守り活動推進委委員会を中心に個別への見守りや緩やかな見守りについて協議し、安心して暮らせる地域へ。



男山A地区 福祉座談会実行委員会

子どもに向けた取組みであった「ラジオ体操」の内容を再度検討し、住民の健康増進と交流を目的とした場として再スタートさせた。

体操後は参加者同士がお茶を飲みながらおしゃべりできる地域へ。



絆ネット地域懇談会の開催

概要

地域活動者と専門職等関係機関が一同に集まり、取組みや地域課題の共有を行い、各地域での活動活性化、課題解決に向けた様々な連携促進を図ることを目的に開催します。

《主な出席者》

各地域活動者(自治会単位)
男山交番連絡協議会
八幡防犯推進委員協議会 男山支部
八幡市地域包括支援センターやまばと・美杉会
UR都市機構
生活情報センター
八幡警察署
男山地域コーディネーター(だんだんテラス)
八幡市
八幡市社会福祉協議会

男山団地の 地域医療福祉拠点化

(2)多世代が根を張るまちづくりとして、高齢者が住み慣れた地域で
住み続けられることを目指した「地域包括ケア」の確立

地域医療福祉拠点化の取組み

拠点化の進め方に決まった形はありません。地方公共団体、自治会等の地域関係者と連携・協力しながら、地域の状況に応じて、様々な要素の中から必要なものを組み合わせて、住宅・施設・サービス等の整備を推進していきます。男山団地では、連携協定に基づき様々な整備が進められている中、ここでは、「エレベーター設置」「健康寿命サポート住宅の整備」「生活支援アドバイザー」について紹介します。



地域医療福祉拠点化の取組み

1 中層エレベーターの設置

男山団地をはじめ、昭和40年代に建設した郊外団地には、5階建て・エレベーターなしの住棟が数多くあります。

地域医療福祉拠点化を進める団地における団地内共用部のバリアフリー改修について、国からの支援が拡充されたことを受け、今般、男山団地の一部の住棟において、エレベーター設置工事を行っています。



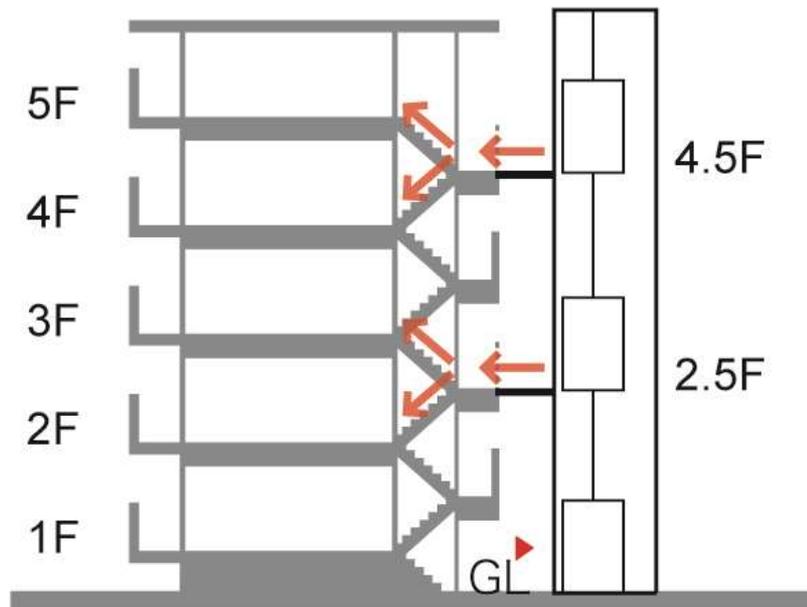
B42、B44、B45の3棟が工事中

B38、B39の2棟は設置を予定



地域医療福祉拠点化の取組み

後付するエレベーターは、既存の階段室の外側に設置し、2～3階部分と4～5階部分の階段室の踊場の腰壁を撤去し、そこにエレベーターの出入り口を設置します。これにより、お住まいの方への工事による影響をできるだけ減らすとともに、2～5階にお住まいの方は、半階分の昇降により外出することが可能となります。



階段とエレベーターの関係



エレベーター設置工事の写真

地域医療福祉拠点化の取組み

2 健康寿命サポート住宅の供給

手すりや浴室暖房などを設置する等、高齢者の方の住戸内の安全・安心に配慮した「健康寿命サポート住宅」への改修をすすめています。平成28年度からこれまでに22戸供給しております。



- ・人感センサー付照明
- ・手すりの設置 など



- ・またぎ高さを低く設定
- ・浴室ヒーターの設置 など



- ・段差の軽減
- ・多機能便座への変更 など

地域医療福祉拠点化の取組み

3 生活支援アドバイザーの配置

高齢者の方が安心して暮らし続けられるよう、各種相談対応や電話によるあんしんコール、交流促進のためのイベント等を実施しています。



他団地で実施した生活支援アドバイザー主催イベントの様子

周知案内の事例

この度、当団地にお住まいのご高齢の皆さまの日常生活をサポートする『生活支援アドバイザー』を当団地管理サービス事務所に配置致しました。

- 配置場所 管理サービス事務所
- 営業日時 月・火・木～土曜日:9時30分～17時(12～13時は昼休み)
※ 水・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は定休日
- 電話番号 (生活支援アドバイザー専用番号)

◎ 主なサービス内容

- ① ご高齢者の日常生活にかかわる相談受付
※ 管理サービス事務所に相談ブースを設置しております。
- ② URの高齢者向け制度のご案内
- ③ 公的機関等の高齢者向け施策に関するご案内
- ④ 定期的な安否確認(「あんしんコール」〔登録制〕)

※ これらのサービスは、原則60歳以上のご高齢者の方を対象にさせていただきます。

生活支援アドバイザー紹介

皆様のお役に立ちますよう一生懸命業務に取り組んで参りますので、宜しくお願い致します。



1まち1キャンパス事業

学生たちが京都府全域をキャンパスとして活動できるよう『京都のまるごとキャンパス化』を目指し、支援事業を実施

<支援事業内容(⑳～)>

- ①大学・地域連携プロジェクト支援
- ②市町村学生受入施設整備支援

1まち1キャンパス事業による支援

●趣旨

多くの学生が大学のキャンパスを飛び出し、府内各地で地域をフィールドとした活動を経験し、学び、交流する中で成長できる取組みを進め、大学で学ぶことの魅力をさらに高めるとともに、**地域に愛着を持ち地域に貢献する人材を育てることを目指す。**

●③〇府内全体での取組み状況

18の大学・地域連携プログラム(16大学・14市町)を採択・支援

●関西大学×八幡市(男山地域)への支援

大学が活動地域に拠点を設置、人員を配置し、年間を通じた地域活性化の取組みを実施する**理想的なケース**として事業採択(②⑧～)

＜支援内容＞

大学・学生の活動環境面をサポート

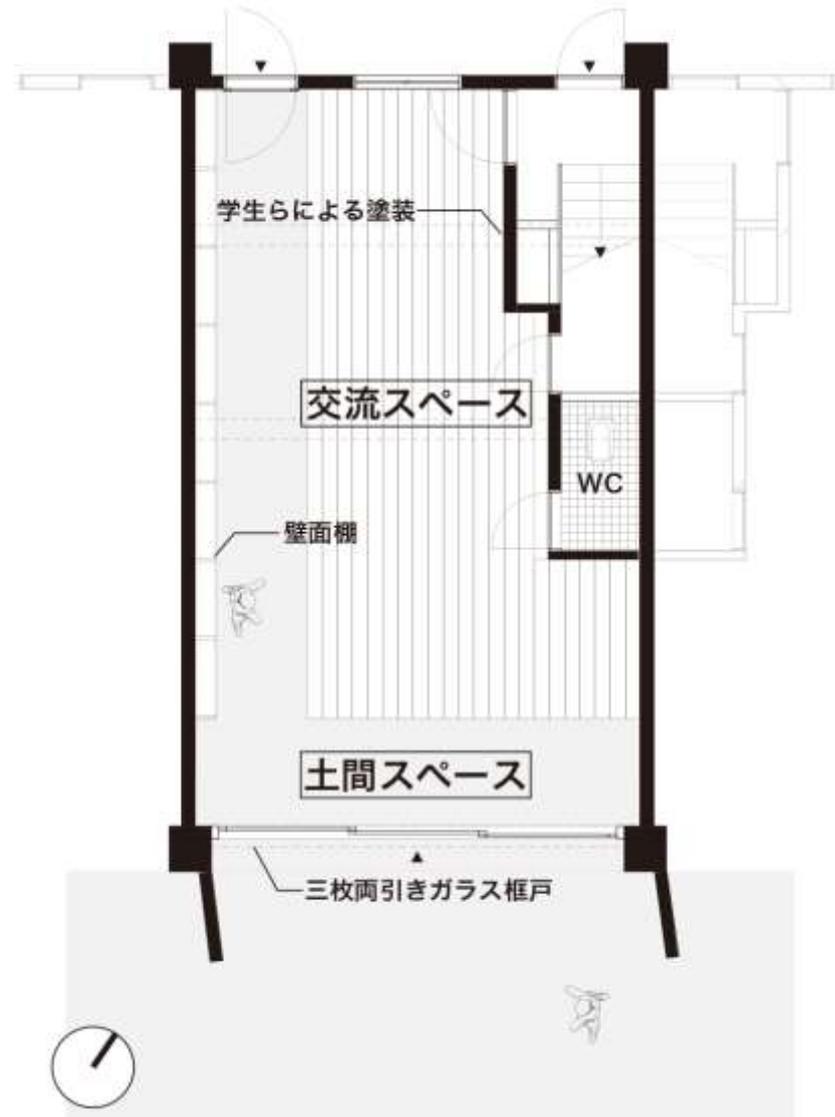
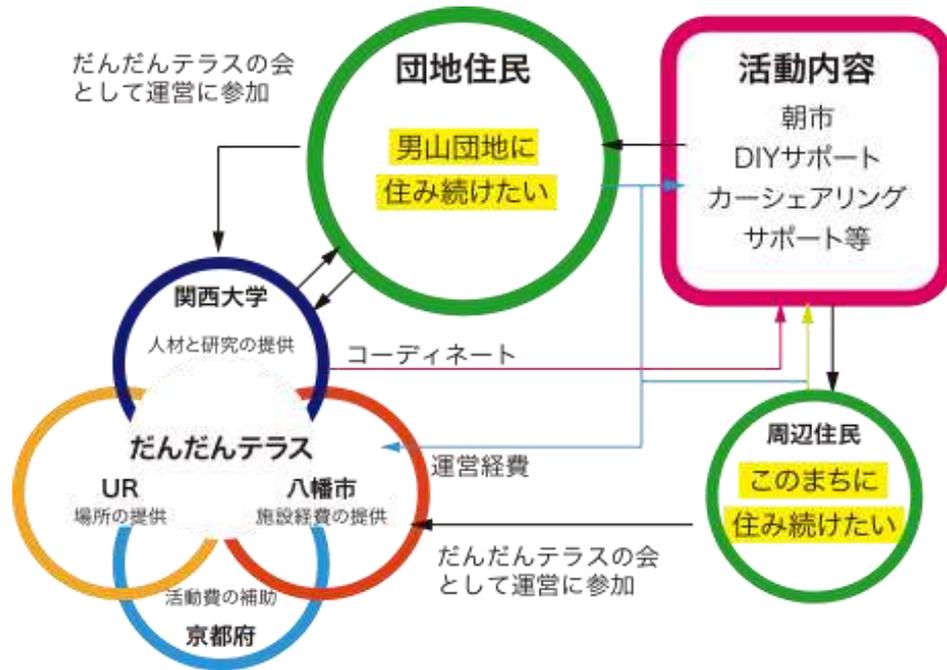
(地域コーディネート活動費用、学生・教員等の移動費用等を支援)

だんだんテラスの取組み

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

365日気軽に集まれるだんだんテラス



開設日：平成25年11月16日～

運営：だんだんテラスの会

主に大学院生が常駐

時間：年中無休(10時-18時)

住民と学生が協働で継続した運営をめざす

まちづくり運動体やってみよう会議の開催



男山やってみよう会議

○毎月第3土曜日開催

自発的・自立的に

男山地域のまちづくりに
関わりたい市民を公募。

○開催の狙い

日常の場(だんだんテラス)

非日常の場(やってみよう)

2つのプラットフォーム

で住民活動を支援する。

4年間で計17のチームが活動

フィルムコミッションや健康体操に取り組むチームが結成！



健康体操のチーム(2019年1月に結成)

第1・3日曜日に「介護予防体操教室」や「笑いヨガ教室」を開催。

今後は地域のサロン活動にお邪魔して、活動を広めていきたい。

<p>世代間交流</p> <p>夢プロジェクトチーム / 平成27年度～</p> <p>平成30年3月、地元中学校、ボランティアグループらと協働し、団地内屋外空間で参加者150名規模のお茶会を開催。</p>	<p>ものづくり</p> <p>DIYチーム / 平成27年度(活動終了)</p> <p>平成27年8月、UR 団地A地区自治会と協働し、夏休みの工作づくりのイベントを開催。</p>	<p>防災</p> <p>防災チーム / 平成27年度～</p> <p>平成27年度より、地区防災訓練や自治会防災訓練に参加し、防災ブースを出展。こども向けの防災ゲーム等を実施した。</p>	<p>魅力発見</p> <p>ヤバイ! まち歩きチーム / 平成27年度～</p> <p>平成27年度より、定期的に参加者20名規模のまち歩きイベントを開催。市内の歴史的なエリアを中心に散策する。</p>
<p>マキジメント</p> <p>だんだんテラス継承・拡充チーム / 平成27年度～</p> <p>他団地における再生事例の見学やだんだんテラスの常駐、団地の管理について、UR 都市機構と意見交換会を実施。</p>	<p>世代間交流</p> <p>こども食堂チーム / 平成28年度～</p> <p>毎月1回、長期休みには週3回、こども食堂を開催。寄付金を資金とし、ボランティアを募って運営を行う。</p>	<p>情報発信</p> <p>8-gran チーム / 平成28年度(活動終了)</p> <p>八幡市在住の大学生が、SNS を使い地域の魅力を発信。地元商店会主催の秋祭りではハロウィンメイクブースを出展。</p>	<p>ものづくり</p> <p>手づくり市チーム / 平成28年度～</p> <p>毎月1回、UR 団地内商店街の屋外空間を活用し、手作り市を開催。だんだんテラスの運営にも関わる。</p>
<p>未利用地活用</p> <p>緑道 de 遊び隊チーム / 平成28年度～</p> <p>緑道で定期的なカフェやヨガを企画。平成29年度より、利用の少ないUR 男山団地集会所の再生プロジェクトを企画。</p>	<p>世代間交流</p> <p>痛快田舎芝居チーム / 平成28年度～</p> <p>平成28年度より、住民が主体となる一座を結成。地域でのイベントに参加し、小芝居を演じる。</p>	<p>世代間交流</p> <p>だんだんフォークチーム / 平成28年度～</p> <p>毎月2回、練習会やミニライブを開催。住民の要望により、歌声サークルを企画。サークルでは、メンバーが生伴奏をする。</p>	<p>異文化交流</p> <p>世界の料理会チーム / 平成28年度～</p> <p>定期的に日本料理をテーマとした料理会と外国料理をテーマとした料理会を開催。異文化、世代間の交流が生まれている。</p>
<p>マキジメント</p> <p>だんだんテラスガーデンクラブ / 平成30年度～</p> <p>平成30年度に、UR 男山団地内の園芸活動に関する意見交換会を開催。今後、UR 公認の園芸サークルとして活動予定。</p>	<p>相談窓口</p> <p>だんだんカフェチーム / 平成30年度～</p> <p>毎週1回カフェ形式の場づくりを行う。男山地域での暮らしに関する相談が気軽にできるような場を目標としている。</p>	<p>施設改修</p> <p>A地区集会所改修・活用検討部会 / 平成30年度</p> <p>自治会や子育て支援団体、だんだんテラス継承・拡充チーム、UR 都市機構によってA地区集会所改修・活用を検討する。</p>	<p>ゲーム名 / 活動年度</p> <p>チーム写真</p> <p>テーマ</p> <p>主な活動実績</p>

まちづくり運動体やってみよう会議の成果

A地区集会所の改修プロジェクトでは多主体で協働



UR男山団地A地区自治会、福祉委員
おひさまテラス、だんだんテラス
UR都市機構で集会所の倉庫を
キッチンにリノベーションし、
住民が気軽に集えるスペースを
つくるプロジェクトが現在進行中。



交流・情報交換・活動の場



だんだん朝市



朝10時からのラジオ体操



八幡支援学校が実施する「よろーな」



URの若手職員によるワークショップ

ココロミタウンの取組み

(UR男山団地C地区)

(3)地域に活力を呼び戻すまちづくりとして、
地域及び団地が連携した新しい機能及び活動の導入・確立

(4)住民が主役となるまちづくりとして、
地域の多様な活動主体の育成及び活動ステージの確保

ココロミタウンプロジェクトの取組み

必要な時期に自分で住まいに手を加えて、住み続けることのできるセルフリノベーション特区をUR男山団地内に新設(愛称:ココロミタウン)。

【ココロミタウンの特徴】

- ① 申請等により退去時の原状回復義務が免除される特典付の賃貸住宅を供給

⇒平成28年10月15日より特区化

- ② 気軽に取り組める改修サポート体制



住民の皆さんが、住まいながら、日常の暮らしを少し良くする試みを自ら実施することで、住まいに愛着を持って、長く住み続けたいまちとなることを目指します。

ココロミタウンにおけるサポート体制等

専門知識が無くても、改修に踏み出せるようサポート体制等を整備。

① 京都府建築士会による住まいの相談会



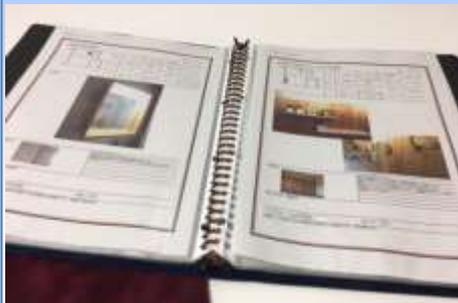
毎月2回、専門家が無料相談会を開催。改修のアドバイスやURへの申請に係るサポートを実施しています。

② だんだんテラスによるDIY工具貸出し



365日開設のだんだんテラスでDIY工具の貸し出しを行っています。道具が既にあるだけでハードルがぐっと下がります。

③ 共有の改修事例集(男山リノベカタログ)



ビフォー・アフターの写真をカタログにまとめ、だんだんテラスに設置しています。実際に改修事例が見学可能なモデルルームも3部屋あります。

④ 入居時の負担軽減特典など



DIY指定住宅は入居前に工事ができるよう3ヶ月のフリーレント付であったり、近居割が併用可能など、入居時の特典があります。

だんだんテラスを拡張しラボ機能が充実

だんだんテラス横の空店舗を活用しH30.2.4開設
「だんだんラボ」



セルフリノベーションの促進やものづくりコミュニティの醸成、
DIY(Do it yourself)の精神を軸にまちづくり活動の拠点をめざす。

だんだんラボの活用でココロミタウンが充実

団地内で“ものづくり”ができる場、工具も貸し出し

賃貸住宅でありながらも、住民がセルフリノベーションすることによって
愛着をもって暮らせる団地を目指し、団地内空き店舗を工房「だんだんラボ」へ改修。

工具の利用講習会を受ければ、誰でも利用可能！

住戸の改修だけではなく、木工などのハンドメイドをしたい方など、幅広く利用いただけます。

充実のサポート体制！

工具・機材を利用しての作業サポートや住戸の改修についての相談会を実施しています。



■ だんだんラボの利用について

【利用時間】 10:00 ~ 18:00

【利用料金】 1ブース半日500円

※工具利用料含む。一部大工工具は利用料別途要
壁面ギャラリー利用（写真や絵などの展示）は1日300円

男山地域安心・安全コミュニティ 創造プロジェクト

取組経過

■平成26年度

関係者によるワークショップ形式での意見をもとにそれぞれが実施可能な施策を検討、事業計画を決定・実施

■平成27・28年度

前年度の取組内容をベースに、4部会に整理、連携した取組を実施

- ・特殊詐欺部会・・・被害防止啓発活動、絆ネットと連携した高齢者の見守り活動等
- ・交通死亡事故部会・・・交通事故防止啓発活動
- ・万引き・自転車盗部会・・・自転車総合啓発活動
- ・AEDによる応急処置部会・・・救命講習、自治会防災訓練でのAED訓練

■3年間の取組の課題

- ・行政だけの取組とせず、住民を積極的に巻き込んだ取組とする必要がある
 - ・男山地域の安心・安全に係る類似の活動(※)との整理が必要
(似たようなメンバーにも関わらず、縦割りの活動で、別々で会議をしている)
- ※男山あんしん・あんぜんステーション、絆ネットワーク等

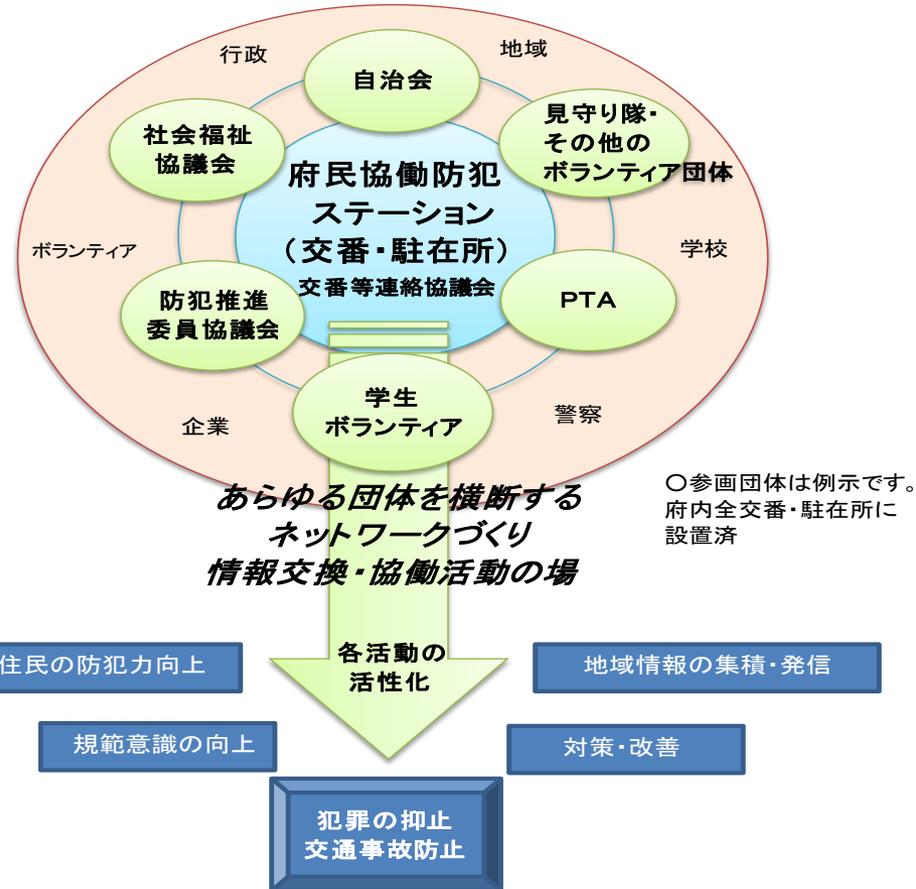
→類似の活動を整理し、住民にとっても活動しやすい環境づくりを行っていく

男山地域安心・安全コミュニティ創造プロジェクト

男山あんしん・あんぜんステーション(府民協働防犯ステーション)

(京都府安心・安全まちづくり推進課・八幡警察署)

- ・交番・駐在所等を核として、地域の安心・安全に関わる様々な団体がネットワークを形成
- ・地域団体が、警察や行政と連携して、防犯、交通安全等地域の安心・安全について具体的な活動を検討し課題解決に取り組む
- ・自主的な活動を継続的に行うようリーダー兼事務局長的な役割を担うステーション・コーディネーターを育成・配置



取組の課題

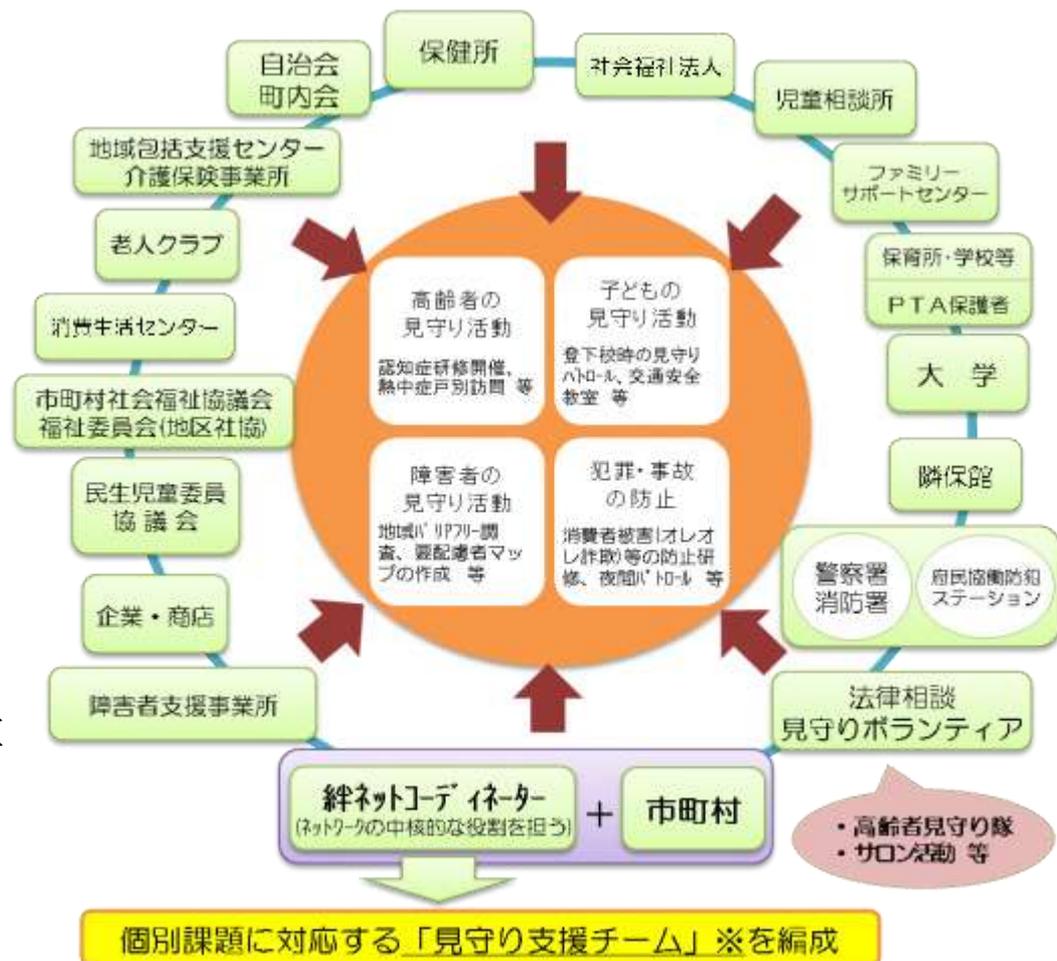
構成メンバーは実質、交番連絡協議会のメンバーのみで、他団体との連携ができていない

男山地域安心・安全コミュニティ創造プロジェクト

絆ネットワーク地域懇談会

(八幡市社会福祉協議会)

- 個々の取組はありながら横断的なつながりが希薄な中、各団体が地域の課題について横断的に調整・推進するためのネットワークを構築
- 地域の高齢者、障害者、児童などの見守り・生活支援を進めていく
- 地域団体の活動を横断的に調整する役割を担うコーディネーターを配置

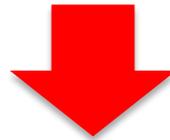


取組の課題

基本的に自治会単位の活動にとどまっており、交番関係等、他団体との連携した取組には至っていない

取組の方向性

- 男山あんしん・あんぜんステーション(府民協働防犯ステーション)及び絆ネットワークの取組の趣旨は、地域の関係団体、警察、行政が連携し、広く地域の安心・安全の取組を進めていくということで共通
- 行政の縦割りの弊害で参画団体に偏りがあり、当初の目指すべき姿の構成になっておらず、かつ会議体が多いことで、参加住民の負担となっている



- 基本的な方向性としては、両団体が連携し、狭義に「防犯」や「見守り」といった行政の縦割りでテーマに縛られることなく、広く地域の安心・安全に向けた方策を、地域全体で検討していくこととする
- 当面は、まず両団体の関係づくり・情報共有を主とし、参加者の意見等を踏まえながら今後の動きを検討するとともに、それぞれの既存の取組についても情報共有し、相互に協力を行っていくこととする
- 本プロジェクトとしては、関係団体との調整を始め、取組へのサポートを行っていく

男山地域の情報発信

■ だんだんテラス facebook おひさまテラス facebook

■ 八幡市役所

<http://www.city.yawata.kyoto.jp/category/1-23-0-0-0.html>

■ UR男山団地(特設サイト)

https://www.ur-net.go.jp/west/case/otokoyama_danchi/index.html

■ UR男山団地(住宅情報)

https://www.ur-net.go.jp/chintai/kansai/kyoto/80_1840.html

■ 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト(KSDP内サイト)

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/ksdp/index.html>

■ 京都府府民力推進課

http://www.pref.kyoto.jp/chiikiriyoku/koukyouin_yawata.html